



若宮公民館だより

みんなでつくる文化祭 来館者500名超のにぎわいに

今年の文化祭は、来場者数が約500名となり、地域のみなさまに大変多くご参加いただきました。オープニングでは若宮小学校吹奏楽部の力強い演奏が会場を華やかに彩りました。子ども向け企画も充実し、親子で楽しめるイベントが盛んに行われました。



オープニングを飾った若宮小の吹奏
サークルの皆さんによる協力が盛り上げに貢献

サークルの皆さんによる「子どもコーナー」が大好評でした。食品販売や作品展示など、多岐にわたる協力があり、文化祭の盛り上がりに大きく貢献してくださいました。



人気の子どもコーナー



サークルの皆さんによる販売



子どもたちが作成した作品

盛況だったステージ発表・サークル展示

ステージ発表は終日多くの方にご覧いただき、会場は終始にぎわいを見せました。観客席は途中でイスを追加するほどの盛況で、出演者の熱演に大きな拍手が送られていました。サークル活動紹介として作品展示を同時開催し、来館者が作品鑑賞を通して活動内容に触れられる機会となりました。展示前では足を止める姿が多く見られ、活動への関心の高まりを感じられました。



作品に込められた思いを探ります



練習の成果を堂々と発表



立ち見になるほど多くの方が応援

今年の文化祭は、地域のみなさん・サークルメンバーの力がひとつになり、「子どもから大人まで楽しめる文化祭」となりました。若宮公民館は、これからも地域に開かれた「つながりの場」として、様々な取り組みを続けていきます。

ママの一歩を応援する いくじネットいちかわ

市川で長年赤ちゃんとママたちのよりどころとなってきた「いくじネットいちかわ」今回は27年以上にわたり地域の子育てを支えてきたその取り組みと、活動に込められた思いを紹介します。



Q:いくじネットいちかわはどのように始まったのですか？

A: 1998年、市内の子育てサークルが集まって誕生しました。当時は子育て支援制度も多くはなく、「子育て中でも仲間とつながりたい」という思いを持つお母さんたちが多くいました。立ち上げのメンバーは「やりたいことを、子育て中でもあきらめずに形にしたい」と考えていました。

Q:立ち上げの頃の活動はどのようなものだったのでしょうか？

A: 当時は専業主婦が多く、孤立しがちな育児を支える“仲間づくり”が大きな役割でした。活動は次第に地域と子育てをつなぐ場へと広がっていきました。

ママも赤ちゃんもほっとできる安心のひと時

Q:現在の主な活動について教えてください。

A: 現在は、公民館で「ぷちデビューサロン」を開催しています。赤ちゃん連れのお母さんが地域の情報を交換したり、気持ちをほぐしたりできる場です。北方と若宮の2か所で行っており、「話すことで気持ちが軽くなつた」「同じ悩みの人には安心した」といった声が寄せられています。



Q:「いくじネットいちかわ」らしい特徴は何でしょうか？

A: メンバーの“やりたい”を応援する雰囲気が強いところです。ハンドメイドや講座など、メンバーのアイデアから活動が生まれることも多く、サロンでの経験をきっかけに保育士資格を取得した方もいます。仲間と話すことでやりたいことが整理され、一歩踏み出せる場所でありたいです。

いつも優しく参加者を迎え入れてくれます

Q:これから大切にしていきたい思いを教えてください。

A: 働く保護者が増えていますが、「どんな形でも子どもとしっかり向き合ってほしい」という思いは変わりません。「地域を知っているだけで心強い。顔見知りがひとりいるだけで救われることがある。そんな“ゆるやかなつながり”を大切にしていきたいです。」

「一人じゃない」という安心が、これから多くの親子へ届きますように。公民館は、皆さんの温かな活動をこれからも寄り添って応援します。